

中野市の未来・・・ともに考え、行動してみよう！

(試行錯誤しながらでも進んでいく、まちづくりの様子を「N(中野)」の矢印で表現してみました。)

なかの若者WS つうしん

第3号 (平成27年1月28日)

1. 年明け初となる、3回目の集合です

平成27年を迎えて初となる「第3回若者ワークショップ」が、恒例、中野市民会館の会議室にて、行われました。

前回(第2回)から1か月以上経過し、年末年始を挟んだので、またちょっと、仕切り直し感も若干漂いますが、気にせず進みます。



2. ワークも新たな局面に・・・

前回の振り返りに続き、早速ワークへと移ります。

今日のお題は、「こんな中野市にしたい!」「ここを一つに! 将来像の設定」の2本立てです。前回の現状に関するワークから一歩進んで、将来の目標や希望を表現してみるようになりました。



3. 3色（グループ）それぞれ、個性を発揮したワークです



前回ワークを経験しているので、今回は、よりすんなりと？ スタートしました。各グループそれぞれが個性を発揮し、いろんな進み方がみられるのは今回も同じです。

自分たちのまちをどうしたいか・・・この難しいテーマをそれぞれのアプローチで消化していこうとする様子は、これまた今回も頼もしい限りで、議論の様子は、ちょっと声かけるのもはばかれるような真剣さもありました。

4. 本日の成果は？ ……夢と現状が交錯して

前回以上に？ あっという間に時は過ぎ去り、まとめの時間となりました。スピードが重視されるこの時代、時間も不足がちなくらいが、テンポよく（強引に？）、話がまとまって良いのかも？

新たなテーマ、2つのお題を各グループ消化いただき、自分たちの言葉で、しっかりとご報告いただきました。理想と現実、いろんな状況が交錯している様子や、一言でまとめた将来像など、さまざまな視点で、みなさんの考える「中野市まちづくり」のコンセプトが、明らかになってきました。

成果の様子は、次ページ以降をご覧ください。

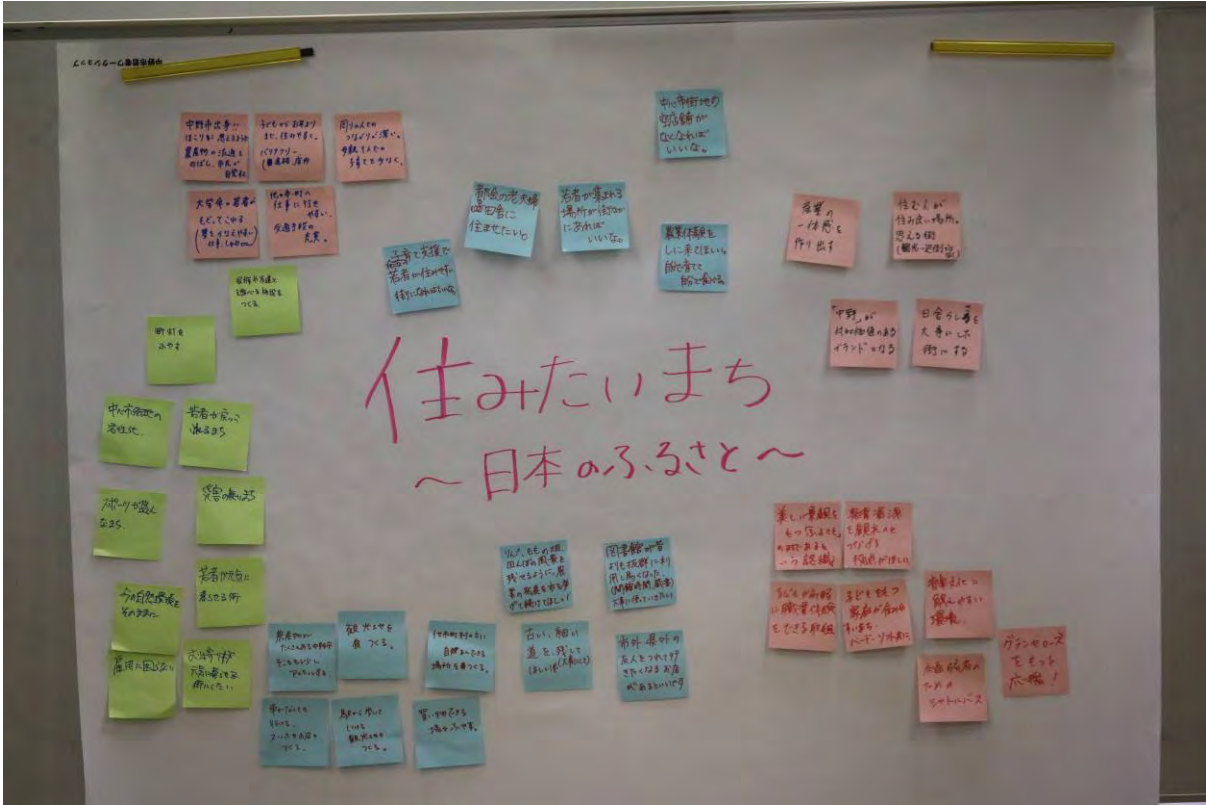
第4回は、1月28日（水）18：30～です。次回は早くも最終ワークとなり、第5回の発表プレゼンテーションに向けたシミュレーションも必要です。ラストスパートに入ってきたワークショップ、臆せず楽しんでいきましょう。よろしくお願いいたします。

— 編集後記 —

1か月間隔という微妙な期間設定をものともせず？ スタートの掛け声とともにみなさん淡々、粛々と今回もワークを進めていただきました。目の前の課題をみんなでやっつける・・・先月の経験というより、みなさんのこれまでの人生経験で上手に対応されているな、と感じました。

いよいよ、ワークショップも終盤に入っていきます。チームワークは各グループともばっちり、これからも思い切って、せっかくの機会を満喫しつつ、「やりたいこと＝方向性や事業等」をまとめていきましょう。（支援事業者：第一企画株式会社）

グループA 「チーム大地」 ～ 1/14 (水)



グループA 「チーム大地」 ～ 1/14 (水)

<ワークまとめ>

「こんな中野市にしたい！」

- 中野市出身！！ 誇りに思えるように。農産物の流通をのばし、市民が自覚する。
- 子どもからお年寄りまで、住みやすく。バリアフリー（図書館、店内）
- 周りの人とのつながりが深い。母親1人での子育てを少なく。
- 大学卒の若者が戻ってこれる（夢をかなえやすい仕事、趣味etc）
- 他の市・町へ仕事に行きやすい。交通手段の充実

- 家族や友達と遊べる施設をつくる。
- 街灯を増やす
- 中心市街地の活性化
- 若者が戻ってこれるまち
- スポーツが盛んなまち
- 災害のないまち
- 今の自然環境をそのままに
- 若者が元気に暮らせる街
- 雇用に困らない
- お年寄りが元気に暮らせる街にしたい

- 美しい景観をもつ「ふるさと」のまちであるという認識
- 農業資源を観光へとつなげる拠点がほしい
- 子どもが気軽に職業体験ができる取組
- 子どもを持つ家庭が住みやすいまち。ハード・ソフトともに。
- 音楽文化に触れやすい環境
- 交通弱者のためのシャトルバス
- グランセローズをもっと応援！

- 農産物がたくさんある中野市。そこをもう少しアピールする。
- 観光地をつくる。
- 車がなくてもいける、スーパーやお見せをつくる。
- 駅から歩いていける観光地をつくる。
- 他市町村の方に自慢できる場所をつくる。
- 買い物できる場を増やす。
- りんご、ももの畑。田んぼの風景を残せるように、農業の発展を市を挙げて続けてほしい
- 古い、細い道を残して（大事にして）ほしい
- 図書館が昔よりも抜群に利用しやすくなった（開館時間、蔵書）。大事に使っていききたい
- 市外・県外の友人をつれて行きたくなるお店があるといいです

- 産業の一体感を作り出す
- 住む人が住み良い場所と思える街（観光一辺倒ではなく）
- 「中野」が付加価値のあるブランドとなる
- 田舎らしさを大事にした街にする

- 他にない子育て支援で若者が住みやすい街になればいいな。
- 都会の老夫婦を田舎に住ませたい。
- 若者が集まれる場所が街なかにあればいいな。
- 中心市街地の空店舗がなくなればいいな。
- 農業体験をしに来てほしい。自分で育てて自分で食べる。

「ここを一つに！ 将来像の設定」

住みたいまち
～ 日本のふるさと ～

グループB 「アタック&クラッシュ」 ～ 1/14 (水)



グループB 「アタック&クラッシュ」 ～ 1/14 (水)

<ワークまとめ>

「こんな中野市にしたい！」

【楽しめる場所】

- 交流スペースが欲しい。
- 若者が楽しめる施設
- 若者の集まる
- おしゃれな洋服屋さんやカフェ
- 小さい子どもがいてもゆっくりできるお食事処
- かわいい居心地がいい場所
- 市民も楽しい！

【開発】

- 292を利用した町作り
- 駅前をもっと明るく
- 駅で名産物の売買

【農産物】

- 農産物を利用した、シーズンの観光農園
- 中野市の食材を使用した料理屋
- えのき氷に続く名物求ム
- 農業で稼げる（都会から移住）

【PR】

- イメージが浮かぶような場所
- これが日本一!!! と自慢できるスポットがある街!!!
- 自然をもっとPRすること
- PRができる市にしたい！（特徴がない）
- 全国でとりあげられるようなもの（ゆるキャラ等）
- 中野市のカラーを統一したい
- 農園や企業をPR、支援
- 日本一を数多く作る！
- 中野市のキャラクター
- 市外の人へのアピール
- 魅力がある中野市（すぐ分かる）

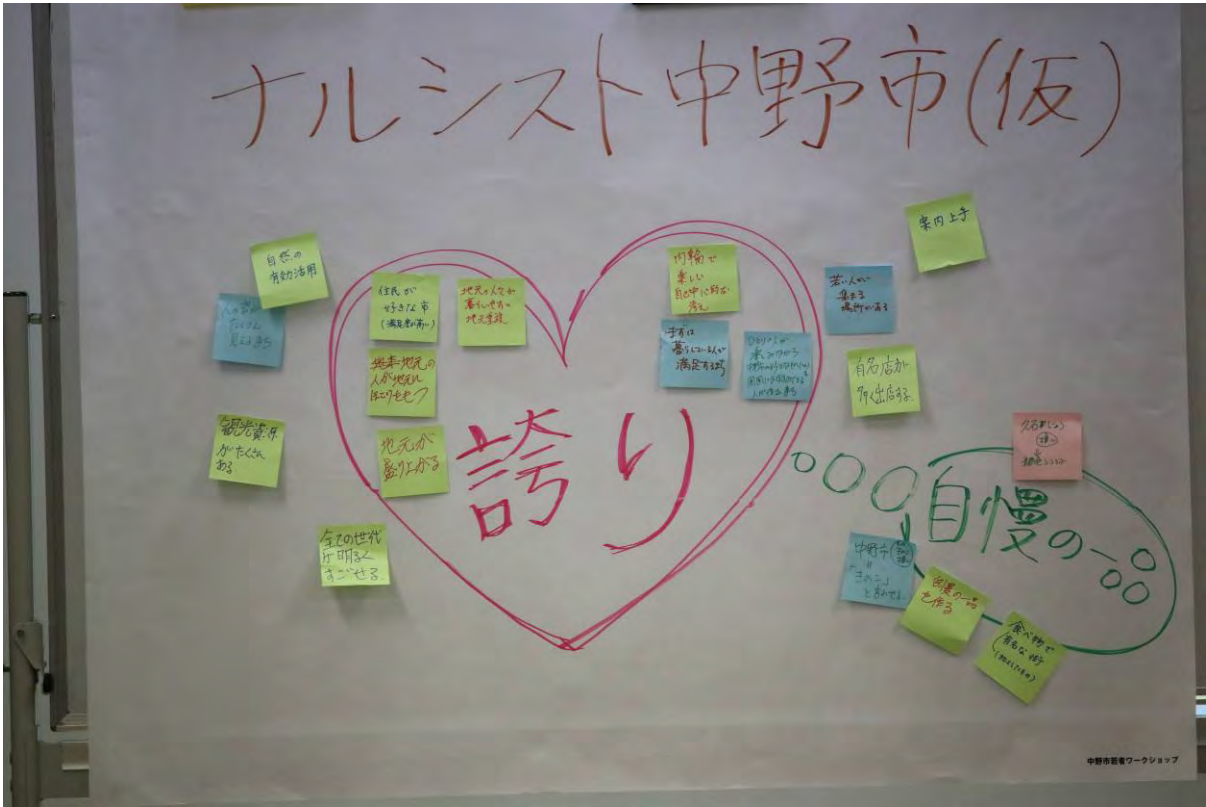
【イベント】

- 市民が市を知るイベント
- 1シーズンに1イベント
- 飯山に対抗して雪祭り
- 農産物を使った競技大会、奇祭を作る！
- 人が集まる施設・イベントが欲しい！
- 車・バイクのミーティング
- 中野市のイベントを知る機会UP
- 音楽イベント（定例的な）
- ライブハウス

「ここを一つに！ 将来像の設定」

OPEN

グループC 「ばかうけ」 ～ 1/14 (水)



グループC 「ばかうけ」 ～ 1/14 (水)

<ワークまとめ>

「こんな中野市にしたい！」

- 自然の有効活用
- 人の姿がたくさん見えるまち
- 観光資源がたくさんある
- 住民が好きな市（満足度が高い）
- 地元の人が地元で誇りを持つ
- 地元が盛り上がる
- 地元の人々が暮らしやすい、地元重視
- すべての世代が明るく過ごせる
- 内輪で楽しい、自己中心的な考え
- まずは暮らしている人が満足するまち
- 一人ひとりが楽しみながら、中野市の好きなもの（こと）を周囲におすすめできる人が住むまち
- 若い人が集まる場所がある
- 案内上手
- 有名店が多く出店する



誇り

自慢の
一品

- 久石じょう（推し）→景色とコラボ
- 中野市＝「きのこ」と言わせる。（もったきのこ推し）
- 自慢の一品を作る
- 食べ物（加工したもの）で有名なまち

「ここを一つに！ 将来像の設定」

ナルシスト中野市（仮）